

留学報告書

記入日： 2020年 6月 8日

東京電機大学での情報	
学部／研究科	工学研究科
学科・学系／専攻	機械工学専攻 先端機械コース
留学期間	2019年 8月 13日 ～ 2020年 5月 9日 ※新型コロナウイルスの影響により現地滞在は 2020年 3月 23日 まで

留学先情報	
大学・機関名	アーカンソーテック大学
国名	アメリカ合衆国
留学先での所属・専攻・身分	所属（学部等）：Mechanical Engineering 専攻：Mechanical Engineering 在籍身分：Freshman

留学準備	
事前語学学習方法	山村先生による特別講義が主な事前語学学習方法。その他、特にリスニングとスピーキングの向上を目的にイングリッシュラウンジや国際センターが開催している特別講義を利用した。
準備で苦労したこと	ビザを申請するにあたって必要な書類がいくつかあり、それらの書類の作成、経費計画書の作成が大変だった。
ビザの種類	J1
申請先	アメリカ大使館
提出書類	パスポート、DS-160、カラー写真（背景が白、眼鏡をかけてはいけないなどの指定あり）、DS-2019、財政証明書、英文成績証明書、SEVIS 費領収書、面接予約確認書、学長の署名入り経費支弁書、戸籍謄本（日本語の原本とそれを英訳したもの）の 2 種。 英訳版は自作でも OK) ※これらすべてをクリアファイルに入れる。
申請費用	¥38,522
申込手順	1. 上記提出書類の準備、SEVIS 費用とビザ申請費用の支払い、DS-160 の作成（オンライン上で行う。質問が多いのでこまめにセーブしながら行う）、面接の予約（混む時期もあるので早めにするといいい） 2. アメリカ大使館にて、書類の提出、指紋採取、面接を受ける。

	<p>3. ビザが許可されると、数日後にビザが貼られたパスポートが郵送されてくる。</p> <p>一連の流れは、下記のリンク先のサイトなどで説明されている。</p> <p>https://jp.usembassy.gov/ja/visas-ja/nonimmigrant-visas-ja/non-immigrant-visa-application-procedure-ja/</p>
ビザ取得所要日数	10日
大使館等での面接	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有→聞かれた質問：どこへ行くのか。またその目的は何か。学費等の費用は誰が負担するのか。所属している大学は、都立か私立か。
他に留学に必要な準備	現地通貨を用意、クレジットカードの発行(Visa か Mastercard のものが2つ以上あるといい)、保険加入、寮の申請、航空券の手配、抗体検査とその証明書(英文)、留学先大学への書類提出

現地到着後	
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有→ <input checked="" type="checkbox"/> 大学関係者 <input type="checkbox"/> その他 () 無→空港から大学までどのように移動しましたか？ <input type="checkbox"/> 電車・地下鉄 <input type="checkbox"/> バス・トラム <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ()
オリエンテーションの有無/時期/内容	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 時期：8月14日~8月20日 内容：アーカンソーテック大学の紹介、履修方法や施設の利用方法などについて、他の留学生との交流を目的としたゲーム
渡航後必要な手続き	健康診断、日本で作成したワクチンの証明書の提出、学生証の発行、実力診断テスト(Accuplacer test)の受験。これらを行った後、アドバイザーとの面談を通して履修登録を行う。
大学の雰囲気	<p>アーカンソーテック大学の主な特徴として、自然豊かな環境と、国際色が豊かであることが挙げられる。</p> <p>アーカンソーテック大学は、アメリカの中でも田舎の地方に位置していることもあり東京電機大学の都会の雰囲気とは真逆の自然豊かな環境にある。キャンパス内では、リスやスカンクなどの野生動物が見られることがある。また、キャンパスの周りには池や山があり、休みの日に気軽にサイクリングや釣りに出かけることができる環境にあることから適度にリラックス</p>

	<p>スしながら学習に励むことができる環境にあるといえる。</p> <p>アーカンソーテック大学は様々な国からの留学生を受け入れている。そのため、同じクラスに他の留学生がいることも珍しくない。留学生が中心となって行うイベントや留学生同士の交流を深めるイベントが多数あり、アメリカ以外の文化に触れることもできる。また、生徒だけでなく先生にも英語のネイティブスピーカーではない方がいる。したがって、英語を第二言語とする方々の話す英語に触れる機会が多々ある。日本ではこのような機会はあまりなく貴重なものであるといえる。これは国際色の豊かなアーカンソーテック大学における大きな利点の一つであるといえる。</p> <p>学習環境については、1 教員あたりの生徒数が少なく、手厚い指導を受けられることや図書館が夜の1時まで開いていることなどから優れているものがあるといえる。</p>
--	---

生活について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 寮（寮名）：University Commons Apartments <input type="checkbox"/> アパート／ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
住居の場所	<input checked="" type="checkbox"/> キャンパス内 <input type="checkbox"/> キャンパス外 キャンパスまでの距離： <input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車・地下鉄 <input type="checkbox"/> その他（ ）で約0分
部屋の種類／同居人	<input checked="" type="checkbox"/> 1人部屋 <input type="checkbox"/> 2人部屋 その他 同居人： <input checked="" type="checkbox"/> 有（4人） <input type="checkbox"/> 無
共有部分	<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> その他（リビング）
食事	<input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 寮食 <input checked="" type="checkbox"/> 大学内学食 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他（ ）
ミールプランへの加入	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有→加入したプラン（Unlimited meals + \$175 DCB ）
住居について注意事項	夜間は騒音を立てないようにする、酒やタバコなどの持ち込みの禁止など。数ヶ月に一回、スタッフによる見回りがあるが、この時に規則を守っていないことや家具の間違った使い方などが判明すると罰金を取られることがある。
銀行開設	<input type="checkbox"/> 行った <input checked="" type="checkbox"/> しなかった 銀行名：

生活費等支払い手段	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード <input type="checkbox"/> 海外専用プリペイドカード（キャッシュパスポート等） <input type="checkbox"/> その他（ ） アドバイス：基本的には自動販売機なども含めて、全ての支払いをクレジットカードで行うことができる。しかしながら、パーティーやレストランでの割り勘やチップの支払いに現金が必要となるため、ある程度の現金を持っていくとよい。
携帯電話(SIM カード)	<input checked="" type="checkbox"/> 購入した <input type="checkbox"/> しなかった
現地での友人等との連絡手段	<input checked="" type="checkbox"/> LINE <input checked="" type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> WhatsApp <input type="checkbox"/> Gmail <input checked="" type="checkbox"/> iMessage <input checked="" type="checkbox"/> その他（Messenger, Instagram, GroupMe ）
病気や怪我等での通院	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 有→ <input type="checkbox"/> 大学内のクリニック <input type="checkbox"/> 最寄りの医療機関 <input type="checkbox"/> その他（ ）
医療関係の注意事項等	医療費が高いこと、薬が強すぎたり合わないことがあるので何種類か薬を日本から持っていくといい。

授業について	
授業期間	2019年 秋学期： 8月 21日～ 12月 10日 2020年 春学期： 1月 13日～ 5月 9日
履修登録	(2019年 秋学期)□出発前 ☑出発後 時期： 8月頃 方法：□オンライン □志願書類に記入 □国際オフィス等 ☑その他（アドバイザーとの相談を通して） (2020年 春学期)□出発前 ☑出発後 時期： 12月頃 方法：□オンライン □志願書類に記入 □国際オフィス等 ☑その他（専攻の学科長の教授を通して）
履修した科目名	(2019年 秋学期) Calculus III Computational Methods in Engineering Composition I College Reading Skills Statics Orientation to the University (2020年 春学期) Finite Element Analysis Heat Transfer Internal Combustion Engines Machine Component Design Thermodynamics II
授業・履修に関する注意事項	健康診断、日本で作成したワクチンの証明書の提出、実力診断テスト(Accuplacer test)の受験をしないと履修登録が行えない。高学年向けの講義については、履修条件があるため、履修登録前に電機大学の成績証明書を提示し、条件を緩和してもらうように依頼する必要がある。アーカンソーテック大学では、専攻の学科長の先生に依頼したところ話がスムーズに進んだ。

費用について			
項目	詳細	費用	支払方法
渡航費	往復航空運賃(オープンフィックスチケット)	¥193,080	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
ビザ申請料	ビザ申請料+SEVIS 費用	¥38,522	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
住居費	月額¥124,505×9ヶ月分	¥1,120,545	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
学費	Fall + Spring Semester	¥1,819,301	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
授業料	Fall + Spring Semester	¥57,931	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
教材費	教科書代	¥192,256	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
保険料	付帯海外プラン B	¥124,457	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
食費	Unlimited Meal Plan	¥376,866	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
日用品	食べ物など	¥200,000	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
予防接種	検査+ワクチン	¥26,138	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
総額(概算)		¥4,149,096	

留学のきっかけ
<p>留学を検討する前から英語力の必要性を感じ、語学学習に励んでいた。そんなときに神山治貴海外派遣プログラムの案内を受け取った。長期留学かつ語学学校に留学するのではなく、専門分野の講義を受けることができるという点に魅力を感じ留学を決めた。</p>

留学の目的
<p>一番の目的は、神山治貴海外派遣プログラムの目的でもある、英語圏の大学に留学し、専門科目の単位を取得することであった。また、授業中のグループワークなどを通して、専門分野に関する議論を英語で行えるようになることも目的とした。</p> <p>学習面以外での目的としては、アーカンソーテック大学の特徴である、豊かな国際色を生かして、多くの文化や価値観に触れることも目的とした。</p>

留学生活 (学習面)
<p>秋学期では、一年生向けの基礎科目を履修した。これは、授業・履修に関する注意事項の欄にも記載したが、応用科目には履修条件があり、その緩和についての依頼をすべて受け入れてもらうことができず、応用科目を履修することができなかつたためである。一方、春学期では、専攻の学科長の先生に直接お願いしたところ、東京電機大学で単位所得したものについては、アーカンソーテック大学で単位所得したとみなすことが認められ4年生向けの応用科目を履修することができた。</p> <p>冒頭にも書いたが、秋学期は基礎科目を履修していたため、東京電機大学で学習した内容を学びなおすというかたちであった。そのため、周りの友人に質問されることが多か</p>

った。理解している内容であっても、それを英語でわかりやすく説明するのは大変だったが、良い経験になったと思う。

これまでに留学をされた先輩方から、アメリカの大学はとにかく課題が多いという話を伺っていたが、まさにその通りであった。履修していたほとんどの科目で毎授業後に課題が出されこれらをこなすのが大変であった。また、これに加えて期末試験も日本の大学のものよりも大変であった。東京電機大学において私が履修していた授業では試験あるいはレポートのどちらか一方のみが課せられることがほとんどであった。しかし、アーカンソーテック大学の授業（特に春学期に履修していた高学年向けの授業）では、試験、レポートそしてプレゼンテーションの3つが課せられる科目がほとんどであり、非常に大変だった。このうちレポートとプレゼンテーションは、グループワークの成果を報告あるいは発表するものであった。グループワークは、図書館などに集まって行うこともあれば、チャットなどで相談しながら行うこともあったが、いずれの方法においても、最初はついていくことに精一杯であり、自分の考えを伝えることも難しかった。しかしながら、最終的には、アイデアを出しながら議論を進めることができるようになったと思う。

留学生活（生活面等）

キャンパス内には、売店や本屋、郵便局、ジムなどがあり、たいいていのことはキャンパス内で済ませることができる。また、留学生を対象に、週に2回、大学近くにあるウォルマートに行くシャトルバスが運行されている。このバスは冬休みなどの休みの期間も運行されているため買い物に困ることはなかった。

寮のロビーに卓球台やビリヤード台があったり、マウンテンバイクやカヌーなどをレンタルすることができたりと、勉強の息抜きに気軽に身体を動かすことができる環境にある。また、大学の周りには、ハイキングができる山やマウンテンバイクのトレイル、釣りやカヌーができる池があり、休日には友達とアウトドアアクティビティに出かけるには最適の環境にあるといえる。

12月上旬から1月上旬にかけておよそ一ヶ月間の冬休みがあった。この期間、現地の学生は実家に帰っていたが、多くの留学生はキャンパス内に残っていた。私はこの期間を利用してアムトラックという鉄道に乗り、西海岸方面に旅行に出かけた。アムトラックは、飛行機に比べて価格が安く、バスよりも安全である。15日間あるいは30日間乗り放題のチケットもある。また、レストラン車や展望車での交流や街のようすを見ながら(例えば、車内アナウンスでメキシコとの国境沿いの壁が見えると放送された。)の移動などは飛行機やバスではできないためおすすめできる。ただし、例えばリトルロック～ロサンゼルス間は52時間かかるように時間がかかりかかるので注意が必要である。

大学の近くには、国際的な交流を目的としたボランティアを行っている教会がある。この教会では、毎週金曜日に食事と英語の勉強会のようなものが行われている。毎回テーマが与えられて、それについて話し合ったが、政治や宗教、環境問題などがテーマになるこ

とが多く非常によい勉強になったと思う。また、この教会で知り合った方の家に招待していただく、あるいは教会主催の旅行に出かけるなどというかたちで交流を楽しむことができた。

アーカンソーテック大学では、多くのイベントが開催された。その中には、留学生が主体となって自分の国の文化や食事などを紹介するイベントも多数行われていた。この他にもかなりの頻度で何らかのイベントが開かれていたため、積極的に参加するようにしていた。

留学を通して得たもの

留学経験を通して、英語力が向上したことは間違いないと思われる。それだけではなく、私は英語を学習することの楽しさを再認識することができたと思う。留学開始直後は伝えたいことがうまく伝えられなかったり、相手の話していることが聞き取れなかったりと想像以上に言葉の壁を大きく感じ、落ち込む時もあった。しかし、知らず知らずのうちに英語力が向上しており、ふとした時に、いままで何を言っているのかあまり理解できなかった友達や先生の発言が、理解できていることに気付きとても嬉しかった。それ以降、出身国や母国語の違う友人とも英語という共通のツールを用いて交流できていることが楽しくなり、さらに英語力を向上させることができたと思う。留学生活では英語力の向上を身をもって感じやすく、モチベーションが向上しやすいのではないかと感じた。

アーカンソーテック大学は、国際色が豊かであることもあり、友人との交流や校内イベントを通して文化や考え方、価値観の違いに触れることができた。文化や価値観の違いは、インターネット等で調べることもできるが、やはり自分で経験しなければわからないことのほうが多かった。このような違いを経験していくうちに、他国のものに魅力を感じ、参考にしたいと思えるものもあった一方で、日本のものの良さにも気付くことができ、大切にしていこうと思えた。

アメリカでの生活を通して、世界で起きている様々な問題を実感することができた。特に人種差別の問題は、日本でこそあまり大きな問題となっていないもののアメリカではいまでも大きな問題であることを身をもって経験した。私の友人にはアジア圏出身の友人が多く、行動を共にすることが多かったのだが、その友人たちと学外を歩いているときに、すれ違う車に乗っていた人からアジア人差別的な言葉を浴びせられたことがあった。また、私の友人が新型コロナウイルス関連の差別発言を受けたということも耳にした。共に大きな被害はなかったが、差別問題について考えさせられる経験となった。その他、格差社会や消費社会による問題も目の当たりにすることができた。日本国内だけでなく世界で何が起きているのかを今後も注視していく必要があると思えた経験になった。

上記のような経験は、国際感覚を身に着けることや視野を広げることに役に立ったと思う。

今後の学習計画

今後、英語に触れる機会が少なくなるため、意識して英語に触れる機会を増やしていかなければならなくなる。このような状況においても留学中に培った英語力を落とさないことに軸をおいて語学学習に励みたいと思う。そのために例えば TOEIC の点数などの具体的な目標を設定したいと思う。また、留学前の事前学習においても取り組んでいたようにイングリッシュラウンジや国際センターが開催している特別講義に参加していきたい。加えて、自分の研究に関連する英語論文を読む、YouTube や TED を利用するなどして、専攻に関する英語にも積極的に触れるようにしていきたい。YouTube や TED は英語を第二言語とする方の英語に触れるのにもよいツールであるので積極的に活用していきたい。

留学を考える方へメッセージ

留学を考えたことが一度でもあるならば、絶対に留学をしたほうが良いと思う。私自身、神山治貴海外派遣プログラムで留学をする前から留学をしようか迷っていたものの中々留学を決意できずにいた。今振り返れば、この時間は間違いなく無駄だったと感じるほど留学という経験は価値のあるものであったと思う。

留学中、英語が伝わらなかったり、聞き取れなかったりすることで落ち込むことも多くなると思う。それでも、部屋に籠ってしまっただけでは交友関係は広がらず、英語に触れることもなくなるので非常にもったいない。留学中はとにかく英語に触れ続けることを意識したほうが良い。その上で交友関係を広げることが必要になる。そのために、できれば課題などの勉強も部屋ではなく、図書館などでするとよい。一人で勉強していても友人が来て一緒に相談しながら勉強できるだけでなく、友人の友人がきて、クラス内での交友関係が広がったことがかなりあった。交友関係を広げるという点では、日本人との交流を過度に避けないことをおすすめする。これは、日本人の友人を通じて、交友関係を広げられたことも多かったからである。日本人の友人を通じて仲良くなった友人は何人かいるが、そのほとんどが日本を好きだったり、日本の文化に興味を持っていたりするので、交流しやすいと思う。

言葉も文化も日本とは全く異なる海外で何かをする事は勇気のいることであるとは思いますが、失敗を恐れずに積極的に行動してほしいと思う。私も留学前にアメリカでは積極的に発言しなければグループワークについていけなくなるとアドバイスをいただいた。実際にアメリカの学生は積極的な学生が多く、アーカンソーテック大学での初めての講義を受けたとき、答えがあっているかどうかに関係なく先生からの問いかけに多くの学生が答えていたり、わからないことがあればその場で質問したりしている授業の雰囲気は驚いた。

最後になりますが、留学後に後悔することのないようにとにかく全力で留学生活を楽しんでください。